

本時のねらい

- ・ふわふわ言葉を書いてもらおうとどんな気持ちになるかを想像して、iPad を使ってカルタを作ることができる。
- ・グループの友だちと協力することを通して、コミュニケーション力を養う。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

ビジョントレーニングをロイロノートで取り組むことにより、ノートに残っている以前の結果よりさらに頑張ろうという気持ちを高める。学習ソフト（ロイロノート）を使用し、前時までに学習したまとめのイラストを参考にしながら、自分のかるたをつくることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・学習支援ソフト（ロイロノート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○日直のあいさつ 日付・曜日の確認をする。 ○今日の予定を知る。 ○体ほぐしの運動「ラインジャンピング」をする。 ○ビジョントレーニングをする。(写真1) ロイロノートに送ったビジョントレーニングを行う。1 分間で 1 から 5 0 までの数字を順に追い、ペンで斜め線を入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングでは前回の結果を見て、それよりも頑張ろうという気持ちを持たせる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふわふわことばかるた」作りをする。 ・前時までに、みんなで出し合ったふわふわことばを使ってかるたをつくる。(写真2) ・「ふわふわことばかるた」を作ったら、1 年生に遊んでもらうことを目的とすることで、モチベーションを上げる。 ・どのふわふわことばを使いたいかを、話し合いで決める。その際に、ふわふわ言葉を使って話し合いをするように伝える。 ○出来上がったかるたを全員で共有し、良かったところ発表する。(写真3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かるたの読み札のテンプレートをロイロノートに送り、各自 iPad で文章を打ち込む。 ・そのふわふわことばを言われるとどんな気持ちになるかを意識して、かるたを作るように声かけをする。 ・書くことが苦手な児童はロイロノートに打ち込む作業の方が簡単である。 ・ロイロノートを使うことによって、書き直しが簡単にできる。 ・なかなか読み札の文章が思いつかない児童には、前時までに学習したまとめのイラストを参考にしているかるたづくりができるようにする。 ・テレビに一人一人のかるたを映し出ししながら、読ませ共有する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえり ・目標が達成できたか評価する。ふりかえりのヒントを見ながら、わかったことや感想、友だちの頑張っていたところ書く。 ・ふりかえりの発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの発表時には電子黒板に一人一人のふりかえり用紙を映し出し発表させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ロイロノートに貼ったビジョントレーニングに取り組んでいる場面



写真2：「ふわふわことばかるた」を作成している場面



写真3：作成したかるたを発表している場面

児童生徒の反応や変容

・かるたの読み札の文章が思いつかない児童が出てくることが予想される。そのため、前時までに学習したそのふわふわことばはどんな時に使うのか、言われるとどんな気持ちになるかをまとめたイラストをいつでも見られるようにしてイメージしやすくする。自分の考えたかるたを作ることにより、ふわふわ言葉をさらに身近なものにするともに、完成させた達成感を味わってほしい。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・支援学級全クラスで、ふわふわ言葉が使えるように指導している。学習した内容をもっと身近にとらえ、ふわふわ言葉が自然に出てくるように、かるたにしたいと思った。特に低学年の児童が楽しくかるたをしているところをイメージしながらかるたの枚数を増やしていきたいと思う。